

TYPE OF INDUSTRY

情報通信研究機構

# NICT 先端研究

(114)

情報通信研究機構 (NICT) は、宇宙天気予報・警報を発信している国内唯一の公的機関である。近年、通信、測位をはじめとするさまざまな分野で、この宇宙天気情報

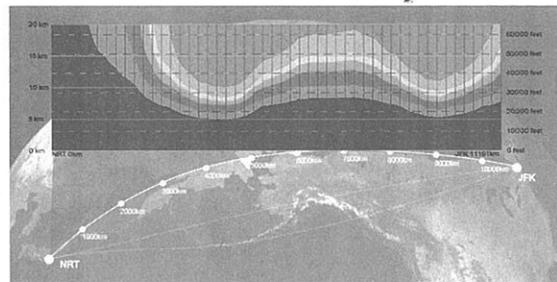
の必要性が高まりつつある。特に航空業界では、民間航空機の運航に際して宇宙天気情報の利用が義務化され、国際民間航空機関 (ICAO) を中心に利用が開

## 太陽放射線 被ばく量推定 航空機の運航支援

電磁波研究所・宇宙環境研究室 研究マネージャー 久保 勇樹



1998年東京大学大学院修士課程修了後、郵政省通信総合研究所 (現NICT) 入所。15年より現職。太陽電波観測や宇宙放射線などに



るため、太陽放射線による被ばく線量の増加が地上に到来する間に起こるさまざまな過程を再現することができ、航空機乗務員の太陽放射線による被ばく線量を推定することも可能である。WASAIEESは、特定の航空物理、原子核物理など異なる分野の研究者が、先月からWASAIEESにより、航空機乗務員の太陽放射線による被ばく線量をリアルタイムに監視し、宇宙放射線による被ばく線量が高く、運航高度を下げたり、運航高度を下げたりするなど、世界中の民間航空機の運航に必須の情報として提供が開始されている。今後も、WASAIEESの運用と情報提供を通して航空機運航を支援していきたい。

(火曜日に掲載)

科学技術・大学

TYPE OF INDUSTRY